

坊守の独り言

暑中お見舞い申し上げます。

8月の風物詩と言えば「全国高校野球選手権大会」そう甲子園です。

わが息子も、この記念すべき100回大会を目指し日々練習を重ねてきました。が、残念ながら地区予選敗退。秋の大会で夢のような快進撃があったので、微かな期待を胸に挑みましたが、全道大会にも出場できない現実。しばらく落ち込む日々が続きましたが、夏休みに入り、中学時代の野球仲間がそれぞれの高校野球を引退して我が家に集合。

引退してもグローブ持参で集まる子供たちの姿に、スポーツを通して友情を深め、一喜一憂し、多くの方々に支えてもらっていることを学んでいくのでしょうか。これからが彼らの人生の本番。勝ち負けじゃない人生を歩んで欲しいものです。

住職の写真日記より【7月】 ※ホームページではカラーで見られます

前半は、ぐずついた天気ばかりでしたが、後半になってやっと夏らしくなってきました。本州の猛暑はひどかったですね。私も京都に6年間いましたが、毎日37度ぐらいになってました。クーラーなしでよく6年も生活していたな〜と、今はたぶん無理でしょうね。



1日 ブルガリアから留学生

イバナちゃん17歳、短期留学でお寺で1カ月ホームステイ。日本語とても上手でした。



3日 男泣きでした

残念ながら支部大会の決勝で敗戦。3年間の野球生活がこれで終わりました。



4日 歓迎会と慰労会

イバナちゃんの歓迎会、純正の慰労会を家族でささやかに行いました。



5日 屋根がプールに

排水口が詰まって大量の雨水。流れ出したら、大量なので水道局が異常を感知して局員がお寺に。分かるんですね〜。



9日 連日の工事でした

お寺周辺は下水工事、とても出入りが不自由でしたが、仕方ないですね。



10日 親子で遊びに

昨年ホームステイしていた中国のマーちゃんとお母さん、お母さんは大学の先生。



19日 お世話になりました

30年前に私が帰寺した当時から総代 脇さんの葬儀。とても頭の切れる方で、頼りになりました。感謝！



20日 土用丑の日に

お店をやっている檀家さんから年に1回うな重を注文します。今年も大変おいしくいただきました。



27日 イバナちゃんとお別れ

本人は「帰りたくない」と泣いてました。とても日本が気に入ったようです。ラストショットは、浴衣を着て本堂で。